

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は金融政策への思惑からレアル高となった後切り返す展開でした。朝方は前日とほぼ変わらない2.21台半ばから始まりましたが、ECBドラギ総裁が追加緩和を示唆したことから高金利通貨への需要が高まるとの観測が台頭したため、2.20台後半へレアル高が進みました。その後、中銀のペレイラ理事がインフレとの闘いは今後も続くとのタカ派発言を行ったことから先物金利が上昇し、連れてレアルも買われたため一時2.20近辺での取引となりました。しかし、引けにかけては警戒感から調整が入り、結局2.21台半ばへ戻して引けています。

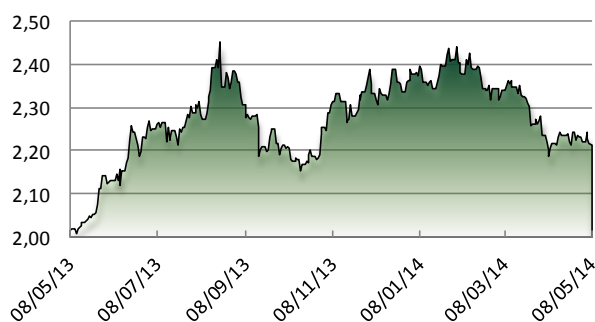
COPOMメンバーでもある中銀のペレイラ理事は、先月トンビニ総裁が次期財務相に就任するとの観測が流れた時にトンビニ総裁後任の有力候補と言われた人物であり、市場もその発言には注目しています。昨日の講演で昨年4月に始まった利上げに伴うインフレとの闘いは今後も続くとの見解を示し、タカ派的な発言と捉えられました。また、「中銀は近い将来にIPCAをインフレターゲット中心に近づけるための行動を取る使命を持っているので、ターゲット上限を超える必然性はない。」とも発言しており、利上げ継続を示唆しました。次期総裁候補との観測もあるペレイラ理事がタカ派発言をすることによって、中銀の独立性を顕示する狙いがあると思われます。但し、市場にメッセージを発した以上は有言実行を継続していく必要があるでしょう。

マーケットデータ

Indicator	Unit	5月7日	5月8日	前日比	4月8日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	45,98	45,90	-0,08	46,24	-0,34
USD / BRL Spot	BRL	2,2167	2,2150	-0,0017	2,2016	+0,0134
USD / JPY Spot	JPY	101,90	101,66	-0,24	101,81	-0,15
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	54.053	53.422	-631	51.629	+1.793
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	144,7	145,0	+0,3	160,7	-15,7
Brazil 5yrs Gov. Bond	%	12,15	12,24	+0,09	12,26	-0,02
DI Future Jul15 (金利先物)	%	11,49	11,54	+0,05	11,56	-0,02
3 Months US Dollar Libor	%	0,224	0,223	-0,001	0,227	-0,004
CRB Index (国際商品指数)	Index	307,0	306,1	-0,9	308,0	-1,9

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊社担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

